

今井先生：歯科医院特有のキーンという切削音もなく、静かなのも患者さんと歯科医両方のストレスを激減してくれますね。KaVoは照明も優れています、5つのLEDで異なる角度から照射する無影灯は、影をつくらずに奥の方までよく見えます。コンポセーブモードならレジンが光で固まりませんし、実に行き届いていると思います。エアースケーラーやピエゾも使い勝手がいい。しかも頑丈(強固)なので、消毒などの際にタービンやコントラをスタッフが落としても壊れないから、そのたびにヒヤッとしません(笑)。



—最後に、歯科医の先生や開業を考えている先生に、メッセージをお願いします。

今井先生：雑学になりますが、「サラリーマン」のサラリーは「塩」の意で、古代ローマ時代、国の軍兵たちには給料として塩が支払われていたんです。塩は食糧の保存など、古代から人々の生活の必需品であり、貴重品だったんですね。キリスト教の教えに「世の中の塩になれ」という言葉があるそうです。「個」の利益や成功だけを求めるのではなく、世の中の役に立つことをしなさいと。どの仕事も、それが世の中のためになると信じて、理念に沿ってやっていれば、おのずと結果はついてくるものです。開業当初から私はずっと「予防」に取り組んでいますが、結果として、それが患者さんとの末永い関係を育み、共に成長しあって、現在の安定した経営につながっているんだと思いますね。

#### Customer Information



#### 今井歯科クリニック

埼玉県秩父市上宮地町10-3  
TEL:0494-25-0255  
<http://www.imaidc.jp/>



院長 今井 美行 先生  
日本歯科大学臨床講師  
日本フィンランドむし歯予防研究会専務理事  
日本顎咬合学会会員  
IPSG包括歯科医療研究会会員  
日本母乳の会会員  
【著書】ママになる前に知っておきたい  
「おっぱいとお口の話」メディア出版



池田 守 先生  
奥羽大学歯学部卒業  
山梨医科大学口腔外科  
山梨・東京の歯科医院勤務  
平成18年より  
今井歯科クリニック勤務  
臨床研修指導歯科医



#### しらかば歯科クリニック

神奈川県藤沢市大鋸1001-16  
TEL:0466-24-2408  
<http://www.shirakaba-dental.jp/>



院長 小川 真彦 先生  
日本歯科大学歯学部卒業  
今井歯科クリニック勤務  
今宿歯科医院他勤務  
日本フィンランドむし歯予防研究会理事

#### KaVo Freunde Interview

#### 志と共に、KaVoユーザー三者談話

1987年に開院した今井歯科クリニック(埼玉県秩父市)。開院当初から、KaVoユニットを導入、「予防」を中心とする幅広い治療を実践しています。院長の今井美行先生と勤務医の池田守先生、当院の元勤務医で現在開業されている小川真彦先生(神奈川県藤沢市)の御三方に、歯科医としての理念と、それを実践していく上でKaVoの役割について語っていただきました。

## 歯科医の理念を支えるKaVo

今井歯科クリニック 院長 今井 美行先生 池田 守先生

しらかば歯科クリニック 院長 小川 真彦先生



Freunde(フロインデ)はドイツ語で友達を意味します。

KaVo Freundeであるユーザーの皆さんに長く弊社製品をご愛顧いただけますようサービス向上に努めています。



KaVo. Dental Excellence.

#### カボ デンタル システムズ ジャパン株式会社

東京本社 ● 〒140-0001 東京都品川区北品川4-7-35 Tel:03-6866-7480 Fax:03-6866-7481  
大阪本社 ● 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4-5-2 Tel:06-7711-0450 Fax:06-7711-0451  
札幌支店 ● Tel:011-716-4694 Fax:011-716-4692 仙台支店 ● Tel:022-772-7375 Fax:022-772-7376  
名古屋支店 ● Tel:052-238-1146 Fax:052-238-1567 福岡支店 ● Tel:092-441-4516 Fax:092-472-1844

<http://www.kavo.jp>  
VECPBF1509V1 EQU-054



KaVo. Dental Excellence.

## 治療中のイライラストレスから解放してくれるKaVo

—KaVoのユニットを導入されて、何年になるのでしょうか？

今井先生： 28年前の開院当初からです。その前は大学病院に勤務していて、当時の医局の教授で、ドイツに留学されていたこともある恩師から「KaVoは良い」と日頃から聞いていましたから。国産ユニットに較べてかなり高額でしたが、私自身、大学病院での最新の質の高い治療を地元（秩父）でも実践したかったので、開院時に思い切って3台導入しました。（約7年で買い替えるので）今はもう3代目、4代目になりますね。

池田先生： 私は大学病院で見たことはありましたが、実際に診療で使うようになったのは、9年前に今井先生の元で勤務し始めてからです。当初はその切削やバキュームのパワーがこれまで使っていた国産とは比較にならないレベルで戸惑う（フライングアウトしてしまう）こともありました。慣れてくるとそのパワーがたまらなく使い心地がいいんです。

小川先生： 私は、6年間、今井先生の元で働かせて頂き、その数年後に開業しました。やはり高額なので開院当初は国産ユニットからのスタートでしたが、1年前によくKaVoを1台導入しました。おかげで、診療へのモチベーションがぐっと上がり、その使い勝手の良さで、診療中のストレスが激減したのが本当にありがとうございます。

今井先生： 我々、歯科医は長時間にわたって集中して精密な作業に携わるので、ストレスも相当なもので。ストレスが溜まるとイライラして集中できなくなります。ストレスの少ないKaVoのユニットの購入は質の高い丁寧な治療への「投資」だと私は思いますね。



今井先生： 私の医院には、8つの「クレド」（信条）があり、その筆頭が「自分自身や自分の家族が受けたいような接遇、処置、治療を行う」なんです。経営面を最優先して予約を大量にとったら、どうしても患者さんひとりにかける時間は短くなるし、だからと言って診療時間を長くするとたびれ果てて、丁寧な治療ができない。なので、私の医院は予約も余裕を持ってとてますし、診療は平日の9時30分から18時までです。

池田先生： 診療終了後の滅菌・消毒などの作業はKaVoは過酸化水素水を使った注水システムとか滅菌機など、衛生・メンテナンス面の使い勝手でも優れているので、スタッフも大変助かります。おかげで私も夜7時前には帰宅できるし、土日は休みなので、家族との時間も大切にできるのがうれしいですね。3人の子ども達と風呂に入ったり、夕飯づくりもけっこうやってるんですよ（笑）。

今井先生： プライベートを大切にできる勤務体制も「いい治療」を実践しつづける大切な要素であり、その点においても、KaVoのユニットは歯科医の「手足」となって、スムーズで効率的な診療をサポートしてくれる心強いパートナーですね。スタッフの時間と手間を短縮する機能も充実していて、ありがとうございます。うちでは最後の患者さんが帰られて30分後には、スタッフ全員退院しますから。私もアフター6は、剣道修行です。忙しいですよ（笑）。



## スムーズで効率的な診療のサポートとゆとり

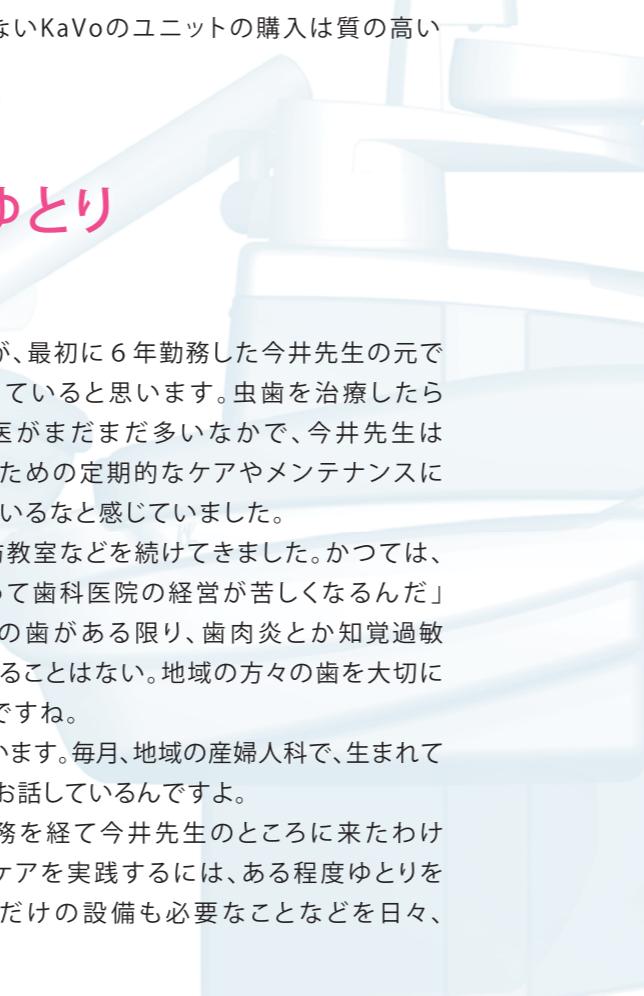
—今井先生の元で勤務されて、どのようなことを学ばされましたか。

小川先生： 私は独立するまでに3か所の歯科医院に勤務したのですが、最初に6年勤務した今井先生の元でしみついた「予防主体」の理念が、開業医としての私自身の幹になっていると思います。虫歯を治療したら終了、患者は次に虫歯になるまで来ないという「治療主体」の歯科医がまだ多いなかで、今井先生は20年以上前から、虫歯にならないための予防指導や健康な歯を保つための定期的なケアやメンテナンスに情熱を持って取り組まれていて、それが患者さんとの信頼関係につながっているなど感じていました。

今井先生： ずっと「秩父っ子 むし歯ゼロ」を目標に掲げて、虫歯予防教室などを続けてきました。かつては、歯科医仲間から「お前みたいな歯医者がいるから、虫歯の治療が減って歯科医院の経営が苦しくなるんだ」と言われることもありました（笑）。でも、実際はそうじゃない。自分の歯がある限り、歯肉炎とか知覚過敏とか歯にまつわるトラブルは永遠にあるので、歯科医院の役割がなくなることはない。地域の方々の歯を大切に守っていくことは、結果的に歯科医院の経営の安定につながっていくんですね。

私は、虫歯予防には妊婦さんへの教育が最も効果があり、重要だと感じています。毎月、地域の産婦人科で、生まれてくる子ども達の歯のケアとか、おっぱい育児が口の発達によいことなどをお話しているんですよ。

池田先生： 私は小川先生とは逆で、これまで他の歯科医院での勤務を経て今井先生のところに来たわけですが、やはり患者さんの身になった上で質の高い丁寧な治療やケアを実践するには、ある程度ゆとりを持って予約をとる姿勢とか、ハイレベルな治療をする上では、それだけの設備も必要なことなどを日々、感じています。



## 圧倒的な切削力と吸引力で痛くない治療を実現

—KaVoの機能のなかでもっとも評価しているところはどこでしょう？

池田先生： バキュームの圧倒的なパワーです。吸いこむ力が強すぎて頬の内側を吸ってしまうので、手元調節機能で力を弱めて使っています。国産だとマックスでも物足りないときもあってストレスになるんですが強いのを弱めて使うのは慣れれば簡単なので、大変ありがたいですね。

小川先生： 私は国産とKaVoの両方のユニットを使ってますが、バキュームシステムは元となるバキューム機が機械室にあって、そこから各ユニットに枝分かれしていくんですね。元の機械は同じでも、KaVoのバキュームの威力は他の国産にくらべて圧倒的なんですよ。

今井先生： 切削すると摩擦で発熱して、その熱が神経にまで伝わると痛みが生じるんですけど、KaVoは切削中に大量に注水して熱を下げています。歯に優しく、痛みの少ない治療が提供できます。その大量の注水を吸い続けるためにも、パワフルなバキューム力は重要ですね。

池田先生： バキュームよりも細い排唾管は、奥歯とか、子どもの小さい口の治療に使ってますが、これもパワフルですごく使い勝手がいいですね。

小川先生： 私は、世界最高レベルのユニットを使っているのだから、それだけ質の高い診療をしなければという、自分の仕事に対するモチベーションが上がって、それを維持できることができが、なによりの喜びですね。機能面ではやはり切削のパワーですね。国産だと、切削中「固く」感じるんですが、KaVoだと「柔らかく」感じて、力を入れずとも、弱い力でスゥーッと滑らかに削れるんです。

うがい水も注水もしないお湯が出るし、フェザータッチやスプレーミストなど、患者さんが求める「痛くない治療」への配慮もきめ細かいと思いますね。

